

II. <次に読みたい図書>

1)全学生向きの図書

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
日本近代短篇小説選(全6巻)	紅野敏郎ほか(編)	岩波文庫	岩波書店	2012	○	081-195-G191-1~6		明治編1~昭和編3までの全6巻。さまざまな作家の短篇を所収。時代の変化と文学の関係を味わってみてください。
万葉集の発明: 国民国家と文化装置としての古典(新装版)	品田悦一		新曜社	2019	○	911.12-Sh57		古典がもつ権威性はいかに生まれるのか。文学に限らず、伝統がいかに創られるかという問題を考えるのにも好適な一冊。図書館には旧版があるが、買うなら新装版がおすすめ。
葬式仏教	圭室諦成		大法輪閣	1979	×	385.6-Ta78		仏教の悪口を言っているようなタイトルであるが、専門分野にかかわらず、研究に必要な仏教にかんする基礎を身につけることができる。
破壊: 人間性の解剖	エーリッヒ・フロム		紀伊國屋書店	2001復刊合本	×	145.9-F48	図書館蔵: 上下巻の旧版/原書の初版は1973年	人間の攻撃性と破壊衝動について考え抜き、希望を見いだそうとし続けた高齢のフロムがたどり着いたのは、人間に対する絶望だったのか、知性に対する信頼だったのか。
超克の思想	岩本真一		水声社	2008	○	910.263-I94		「近代の超克」と格闘した批評家小林秀雄、中村光夫、そして福田恒存の思考・精神・足跡を描き、新たな日本思想史像を提示する、比較文化学類卒業生による一冊。
竹内好の文学精神	岡山麻子		論創社	2002	○	910.26-Ta67		比較文化学類卒業生の博士論文。「北京日記」から「近代の超克」に至る竹内好の思想を考察し、その文学精神を解明する。
グローバル・ヒストリーとは何か	バミラ・カイル・クロスリ-		岩波書店	2012	○	201.16-C93		一国史観および局所的な地域史観を超える歴史叙述の仕方について、多様化、類似性の増大、越境、構造といった語り方に分けて論じた入門書である。
チベットの秘密	ツェリン・オーセル、王力雄		集広舎/中国書店	2012	○	302.229-W83		中国内少数民族であるチベットの人々の悲劇と希望を描いたドキュメント。
文明論之概略	福沢諭吉	岩波文庫	岩波書店	1995	○	081-195-B102-1		明治の時代にあって、文明とは何か、日本の進むべき方向は何処にあるのかを考察した論著。「立国は私なり、公にあらざるなり」と述べる『癸我慢の説』との併読を勧めたい。
The Intelligibility of Nature	Peter Dear		U of Chicago	2006	○	401-D51		西欧が自然界の「わからない」ことを「わかる」ためにどのような理論づけを行ってきたかを論じている。
言葉と物	M・フーコー		新潮社	2000	○	135.5-F42		18世紀末に現代の「学問」がどのように形成されたかを論じている。
銃・病原菌・鉄(上・下)	J・ダイヤモンド		草思社	2000	○	204-D71-1・2		なぜ人類は五つの大陸で異なる発展をとげたのか。人間の成り立ちや食生活、人口などを環境との関連で論じる。
エデンの園	ジョン・プレスト		八坂書房	1999	○	629.23-P92		西欧の庭園・植物園がエデンの園という楽園を再現しようとした試みであったことを論じている。
「科学革命」とは何だったのか: 新しい歴史観の試み	スティーブン・シェイピン		白水社	1996	○	402-Sh12		17世紀「科学革命」によって、西欧の人々が自然を見る視点がどう変わったかを論じている。
史上最悪の英語政策	阿部公彦		ひつじ書房	2017	○	375.893-A12		
斜線: 方法としての対角線の科学	ロジェ・カイヨワ	講談社学術文庫	講談社	2013	×	081-Ko19-2209		既成の学問体系の枠組を切り崩し、「アナロジー」によって横断しようとする野心的著作。
「いき」の構造	九鬼周造	岩波文庫	岩波書店	1979	○	081-195-B146-1	「青空文庫」にあり ( <a href="https://www.aozora.gr.jp/cards/000065/files/393_1765.html">https://www.aozora.gr.jp/cards/000065/files/393_1765.html</a> )	日本人の美意識「いき」(粋)をく諦めく媚態く意気地)によって捉え、さらに心情を直六面体によって構造化するという視点は独創的かつ秀逸。

自分だけの部屋	ヴァージニア・ウルフ		みすず書房	1999	○	934.9-W87	『自分ひとりの部屋』(平凡社)という邦題でも入手可	「女性が小説を書くためには、十分な収入と鍵のかかる部屋が必要。」女性が知的活動から遠ざけられてきた歴史をたどるエッセイ。
判断力批判	カント	岩波文庫ほか	岩波書店ほか	1964	○	081-195-B625		近代社会にとって美とは何かを考察するときの基準思想
エウパリノス・魂と舞踏・樹についての対話	ポール・ヴァレリー		岩波書店	2008	○	081-195-R560-4		詩人として世に出る前、ひたすら読書と思索の日々を送っていたヴァレリーならではの、哲学者たちの対話体形式による評論集。
白き処女地	ルイ・エモン		新潮社	1951	○	ル700-258		ケベック開拓者たちの厳しい生活を描いた小説。
哀詩 エヴァンジェリン	H.W. ロングフェロー		岩波書店	1930	○	イ300-262-E		北米入植先を追われた仏系アカディア人の悲劇をうたう長詩。
私の個人主義(『漱石人生論集』所収)	夏目漱石	講談社学術文庫	講談社	1976	○	081-Ko19-2327		自律的に生きるということを考えたい時に。大正という時代状況の中でなされた漱石の講演をみなさんはどのように読み取るでしょうか。
大衆の反逆	オルテガ(寺田和夫訳)	中公クラシックス	中央公論新社	2002	○	イ300-670-56 (中公世界の名著第56巻)所収。また、桑名一博訳が口160-155-2および136-071(オルテガ著作集第2巻)所収	神吉敬三訳(ちくま学芸文庫)および桑名一博訳(白水Uブックス)も、書店で入手可	「自分のような一般人に対し、上から目線の貴族主義者が、権利を主張したり意見を言ったりするなど説教している本」ではないので、毛嫌いして読まなかったらもったいない。
ヴェネツィア 東西ヨーロッパのかなめ 1081-1797	W.H.マクニール	講談社学術文庫	講談社	2013	○	081-Ko19-2192		ヴェネツィアというミクロな都市空間から、東西ヨーロッパ、イスラーム世界の多様な政治的関係、文化・技術交流に至る叙述は、グローバル・ヒストリーへと読者をいざないます。
もし、みんながブッシュマンだったら	菅原和孝		福音館書店	1999	×	無		日本とカラハリ砂漠を行き来しながら、迷いながら、生を考える。文化人類学の考え方、方法、生き方のよき入門書です。
レポートの組み立て方	木下是雄	ちくま学芸文庫	筑摩書房	1994	○	816.5-Ki46		事実即しレポートを書くという視点からは最高の指南書と思う。
男同士の絆：イギリス文学とホモソーシャルな欲望	イヴ・K・セジウィック		名古屋大学出版会	2001	○	930.2-Se14		ミソジニー(女性軽視・蔑視)と、ホモフォビア(同性愛嫌悪)によって下支えされた、男性同士の絆(ホモソーシャルリティ)を理論化した古典的名著。
ミュージック・アズ・ソーシャルライフ—歌い踊ることをめぐる政治	トマス・トゥリノ		水声社	2015	○	無	年度内に購入し図書館に配架してもらいます。	ブルーやジンバブエ、アメリカでフィールドワークを行ってきた著者が、多彩な「世界音楽」を捉える理論的枠組みを示す、21世紀の民族音楽学・音楽人類学の入門書。
声の文化と文字の文化	ウォルター・J. オンゲ		藤原書店	1991	○	804-065		文字を用いる文化活動の本質と可能性を考えさせてくれるとともに、声だけによる人間文化のあり方についても目を開かせてくれる刺激いっぱい書。
定本 想像の共同体：ナショナリズムの起源と流行	ベネディクト・アンダーソン	社会科学の冒険 2-4	書籍工房早山	2007	○	311.3-A46	ほかの版でも大丈夫	世界のさまざまな地域についての実証的研究に基づく、まさに比較文化の書。近代社会の鍵としての出版・メディアの重要性にも改めて納得できる。
自己・あいだ・時間：現象学的精神病理学	木村 敏	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2006	○	493.76-Ki39	図書館所蔵は弘文堂版	人間は「あいだ」を生きている。自分と他者、自分と自分の関係に苦しむ人々を通じて、人間とは何か、なぜか感動的に浮かび上がってくる。木村敏は日本最高の哲学者でもあろう。
世界の多様性：家族構造と近代性	エマニュエル・トッド		藤原書店	2008	○	362-To17		政治でも経済でもなく家族制度の類型から世界の諸地域を見渡し直す、まさに地球規模の比較文化論。「目からウロコ」が続出すること間違いなし。
ジェンダー・トラブル	ジュディス・バトラ		青土社	1999	○	367.2-B96		ジェンダー、セクシュアリティ、欲望、主体、権力、パフォーマンスについて、1990年代以降のフェミニズム理論、クィア理論に新たな方向性を与えた画期的な書です。ぜひ読んでほしい一冊です。

敗北を抱きしめて 増補版: 第二次大戦後の日本人 (上・下)	ジョン・ダワー		岩波書店	2004	○	210.76-D89	元の本は2001年	最近では海外の研究者によるすぐれた日本研究が増えてきた。本書はその代表的な著作。増補版では、写真が多数、付加された。
<子供>の誕生: アンシャン・ レージュム期の子供と家族生 活	フィリップ・アリエス		みすず書房	1980	○	367.6-A71		ヨーロッパの中世から近代に入るまでの社会を対象に、日常生活の掘り起こしによって人々の心性やふるまいを照らし出す。名著。
トランスクリティーク: カントと マルクス	柄谷行人	岩波現代文庫	岩波書店	2004	○	918.68-Ka63	図書館所蔵は「定本柄谷行人集」3として	世界の変革について考えたい人へ。日本を代表する哲学者、柄谷行人の最重要書。
イデオロギーの崇高な対象	スラヴォイ・ジジエク	河出文庫	河出書房新社	2000	○	139-Z4	図書館所蔵は単行本	現代社会とイデオロギーの関係について、またラカン派精神分析理論について知りたい人へ。
ゴドーを待ちながら	サミュエル・ベケット	白水Uブックス	白水社	2013	○	952.9-B31-1	図書館所蔵「ベケット戯曲全集」1に収録	現代演劇の古典的名著。ベケットの作品の中で最も有名で読みやすい。
文化の場所—ポストコロニ アリズムの位相	ホミ・K. バーバ	叢書ユニベルシタス778	法政大学出版局	2005	○	361.5-B39	原著1994	「サイド、スピヴァクと並ぶポストコロニアル理論の牽引者バーバの著作。アンビヴァレンス、異種混濁といったキーワードによる文化の境界線の考察は、一読の価値あり。
文学と悪	ジョルジュ・バタイユ	筑摩叢書	筑摩書房	1996	○	954.9-B27	図書館所蔵は紀伊國屋書店版	文学の本質に深く迫る怪書。サドやボードレール、E・ブロンテに関する優れた論考でもある。
音楽の進化史	ハワード・グッドール		河出書房新社	2014	○	762-G65		先史時代における音と人間の関係から現代までの音楽の発展を独自の視点から解説。
オデュッセイア(上・下)	ホメロス	岩波文庫	岩波書店	1994	○	081-I95-R102-4, 5		『イリアス』とともに、現在まで様々な芸術作品その他の源となり続けている叙事詩。
声が生まれる: 聞く力・話す 力	竹内敏晴	中公新書	中央公論新社	2007	○	081-C64-1882		著者は演出家。みずからの失語経験からの回復をもとに、声の回復、他者との出会い直しのレッスンも開発。からだごとばについて考える現象学とも響き合う。
プロテスタンティズムの倫理 と資本主義の精神	マックス・ウェーバー		岩波書店	1985	○	331.5-W51		資本主義の成立と宗教との関わりを考えるための衝撃的な一冊。
宗教生活の原初形態	エミール・デュルケム		岩波書店	1977	○	161.3-D98		社会における宗教の機能を解き明かした古典
宗教的経験の諸相	ウィリアム・ジェイムズ	岩波文庫	岩波書店	1970	○	081-195-B640-2		宗教体験の多様性を考える必読の書

## 2) 領域・コースの学習に関する図書

### 日本文学コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
定本日本近代文学の起源	柄谷行人		岩波書店、講談社等	1980	○	081-Ko19-カ等	複数の出版社から刊行	世界で数多く翻訳され、読み継がれている近代文学評論を代表する一冊。
漢文脈の近代 清末=明治の文学圏	斎藤希史		名古屋大学出版会	2005	○	920.26-Sa25		和漢洋の文化交流のなかで文学の発展を読み解き、19世紀の漢字文化圏の近代化への関心を一気に高めた研究書です。
明治の文学(全25巻)	坪内祐三ほか(編)		筑摩書房	2000	○	918.6-Me25-1~25		明治時代の文学を網羅的に読んで見ましょう。石川啄木(19巻) 泉鏡花(8巻) 夏目漱石(21巻) 森鷗外(14巻) あたりから。
編年体大正文学全集(全15巻)	中島國彦ほか(編)		ゆまに書房	2000	○	918.6-N34-1~15		大正時代の文学を網羅的に読んで見ましょう。芥川龍之介や志賀直哉が活躍した大正期の代表的な作品をおさめています。

文献学の葉	高田信敬		武蔵野書院	2020	○	910.2-Ta28		目次の次に記されている言葉、「不眠に験あること甚だ妙也、開巻すなはち黒甜郷に到り、枕上詩を案ずるに暇なく睡魔の襲ひ来たるは必定」。
戦争と文学(全20巻)	浅田次郎ほか(編)		集英社	2011-13	○	918.6-A81-1 ~20		テーマ別に作品を集めたアンソロジーの一例。さまざまなアンソロジーをみつけて、問題意識を深めていく一助に。
歌枕	奥村恒哉	平凡社選書	平凡社	1977	×	911.13-O55		名所歌枕はそれぞれ様々な背景を持ち、一首の歌に外部コンテキストを呼び込む。和歌という短い文学形式でいかに豊かなイメージを作り出すかという答えの一つがここにある。

中国文学コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
漢詩と日本人	村上哲見	講談社選書メチエ	講談社	1994	×	919-Mu43		「生涯の重大なふしめの時期にかぎって、漢詩の創作にうちこむ」漱石と漢詩との関係を皮切りに、日本の古典と化した漢詩の魅力、日中文学の豊富な知識のもとに語る。
漢文スタイル	齋藤希史		羽鳥書店	2010	○	920.4-Sa25		『漢文脈と近代日本』の著者が各種書籍・雑誌で発表した文章を集めたもの。どこからでも読み始められ短い文章が多く読みやすいが、各の内容は濃く、博引旁証に圧倒される。
儒教と中国:「二千年の正統思想」の起源	渡邊義浩	講談社選書メチエ	講談社	2010	Kindle版○	124.1-W46		筑波大学出身の研究者による、前近代中国人がもっていた教養を理解するための書。儒教は一見、文学研究からかけ離れているが、実は中国古典文学研究にも必須の知識である。
世説新語で読む竹林の七賢	大上正美	漢文ライブラリー	朝倉書店	2019	○	中央 923.4-O21		魏晋交代期の知識人の言動を「慟哭する阮籍」「抗い続ける嵇康」「酒飲み劉伶」「琵琶と愛の自由人 阮咸」「哲学する向秀」「見識の大物 山濤」「ケチンボ王戎」として読み解く。
六朝美文学序説	福井佳夫		汲古書院	1998	×	中央 826-F76		「"正義派"の古文に打倒されるかたき役、という損な役まわり」であった美文を、客観的に理解すべく、歴史的に考察し、修辞について分析し、創作精神や本質を論じた書。
乱世を生きる詩人たち:六朝詩人論	興膳宏		研文出版	2001	×	中央 921.4-Ko98		「六朝文学についての全体的・体系的な理解を欠いては、唐代の文学をよく理解することはできないだろう」と考える大家の、卒論から50代前半までの論文を収録する。

日本研究コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
西鶴の文芸と茶の湯	石塚 修		思文閣出版	2014	○	中央913.52-184		著者の博士論文。井原西鶴は、江戸時代前期の文化を代表する一人。その文芸作品を考察し、西鶴が当時の茶の湯文化からいかに影響を受けていたのか解明した研究。
増補 郷土教育運動の研究	伊藤純郎		思文閣出版	2008	×	375.3-189		著者の博士論文。1930年代の郷土教育の諸相を、郷土研究、柳田国男、地域社会の視点から考察したもの。愛国心と郷土愛の相克を考察。

江戸時代とはなにか：日本史上の近世と近代	尾藤正英	岩波現代文庫：学術158	岩波書店	2006	×	210.5-B48	初出(岩波書店、1992)や英訳版(東方学会、2006)もある	民主主義、社会的責務が近代の指標であるなら、日本近代は江戸時代に始まったという、常識を覆す新しい視座を提示し、日本の近世と近代を思想的に解明した一冊。
日光東照宮の成立：近世日光山の「荘厳」と祭祀・組織	山澤学		思文閣出版	2009	○	175.932-Y43		著者の博士論文。日光東照宮と近世日光山の成立を、幕府・朝廷の政治力学、祭祀組織、建築の思想、門前町の創造などの考察を通じ解明する。
神と仏の間	和歌森太郎	講談社学術文庫：1798	講談社	2007	×	081-Ko19	初出は弘文堂(1975)刊	日本人の宗教意識を解明した一冊。地域に根ざした宗教・信仰を学際的に考察することの重要性と研究方法を知ることができる。
郷土から問う歴史学と社会文化教育	伊藤純郎(編)		清水書院	2003	○	375.3-Mu93		比較文化学類日本研究コースの卒業生たちを中心に教育現場で教鞭を執る執筆陣たちの研究成果。学ぶことを通じてどう社会貢献するか、各自のキャリアを考える上でもヒントを与えてくれる1冊。
〈憧憬〉の明治精神史：高山樗牛・姉崎嘲風の時代	長尾宗典		ペリかん社	2016	×	910.26-Ta56		著者の博士論文。高山樗牛とその友人の姉崎嘲風の言論活動を考察したもの。思想、文学、美術、宗教、歴史、国語論や民俗、日本人論にも及ぶ領域の研究には学際的な視点が求められる。

#### アジア研究コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能なか(○または)	筑波大学図書館での所蔵の有無(ある場合)	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
老子	小川環樹	中公文庫	中央公論社	1973	○	124.22-R72	図書館所蔵は中公クラシックス版	中国文学研究者小川環樹がイギリスの東洋学者アーサー・ウェイリーの英訳を参照して翻訳した『老子』。現代語訳のみ読んでも興味深く、くりかえし読み返すことができる古典である。
スッタニパータ(釈尊の言葉)	荒牧典俊ほか	講談社学術文庫	講談社	2015	○	081-Ko19 2289		ブッダの言葉を記した最古の経典をわかりやすい現代語訳で紹介するもの。
支那論	内藤湖南		文芸春秋	2013	○	ウ800-80	図書館所蔵は『支那論：附新支那論』創元社1938年版	明治時代の東洋史の碩学が同時代の中国の政治や社会を論じた名著。「中国において生命あり、体統ある団体は郷党宗族以上にはでぬ」と明快に論じている。
中国の現代史 戦争と社会主義	奥村哲		青木書店	1999	○	222.077-O55		中国の現代史を、社会主義をキーワードに読み解く概説書。社会主義を論じるが、共産党中心の観念的史観を脱構築することが試みられている。
バシヤムのインド百科(改訂2版)	A・L・バシヤム		山喜房佛書林	2014	○	無		イスラーム進出以前の南アジアの歴史・文化万般を涉猟する不朽の名著。
叢書カースト制度と被差別民(全5巻)	山崎元一ほか編		明石書店	1994-1995	×	362.25-So63、 362.25-So63-5		日本におけるカースト研究の集大成。カーストの歴史やフィールドワークの成果など、カーストの諸相を多角的に捉え直す論文集。
実利論：古代インドの帝王学(全2巻)	カウティリヤ[著]、上村勝彦訳	岩波文庫	岩波書店	1984	×	081-I95- B263-1~2		これに比べればマキャヴェリの『君主論』も見事に等しいとマックス・ヴェーバーに言わしめた、古代インドの国防政策論書。
新・八宗綱要：日本仏教諸宗の思想と歴史	大久保良峻		法蔵館	2001	○	無		各宗派の教理を濃密に凝縮させた概説書。日本仏教を学ぶ上では避けて通ることのできない必読書。
真の独立への道(ヒンド・スワラージ)	M. K. ガンディー	岩波文庫	岩波書店、講談社等	2001	×	081-I95- B261-2		イギリスによる植民地支配から脱するためにインドは何を為すべきか—ガンディーが西欧近代文明の構造的問題を暴き出しながら、真の自治について解き明かす。
仏典はどう漢訳されたのか：スートラが経典になるとき	船山徹		岩波書店	2013	○	183-F89, 10014004622		インドで編纂された仏教経典が中国語に翻訳され東アジアに伝播された過程を詳細に研究し、異言語・異文化の間の文化伝承の実際を知るために最適の書。

## 英語圏文学・文化コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
文色と理方	鷺津浩子		南雲堂	2017	○	939.02-W44		附属図書館のHPで紹介されています。
エマソン論文集(上・下)	R・W・エマソン	岩波文庫	岩波書店	1972～73	○	081-195-R303-1		アメリカ思想史の原点。
森の生活(上・下)	H・D・ソロー	岩波文庫	岩波書店	1995	○	イ300-262-モ		ウォルデン湖畔の小屋で生活してみたら。
アンクル・トムの小屋	H・B・ストウ		偕成社	1977	×	909.3-St7		奴隷解放に力を貸したセンチメンタル小説。
若草物語	L・M・オルコット	角川文庫	角川書店	2008	○	081-Ka14-15431		南北戦争に出征した父親の留守をあずかる母親と4人の姉妹の物語。
アメリカのデモクラシー(全4巻)	A・ドゥ・トクヴィル	岩波文庫	岩波書店	2005～08	○	081-195-W9-2		フランス人トクヴィルによる、革命を経験したアメリカ、イギリス、フランスの政体比較。
ウィーランド	C・B・ブラウン		国書刊行会	1976	○	908-セ-3		一家惨殺事件を生き残った女性が物語るゴシック小説。
モヒカン族の最後	J・F・クーパー		福音館書店	1993	○	無		フレンチ・インディアン戦争を背景に、敵味方に分かれたインディアンに白人ナティ・バンボーが絡む「西部劇的」小説。
スケッチ・ブック(上・下)	W・アーヴィング	岩波文庫	岩波書店	2014	○	081-195-R302-0		オランダ植民地時代のニューヨークに伝わる民間伝承をもとにした短編小説集。
コモン・センス	T・ペイン	岩波文庫	岩波書店	2005	○	081-195-W106		アメリカ独立革命の起爆剤となった政治パンフレット。
<i>Handmaid's Tale, The Testaments</i>	Margaret Atwood		Anchor, Chatto & Windus	1998, 2019	○	なし	Kindle	Margaret Atwood's contribution to feminist dystopian literature
『歴史・祝祭・神話』	山口 昌男	岩波現代文庫	岩波書店	2014	○	なし		スケープゴートを必要としそれを再生産する社会の深層構造をあぶり出す。政治という祝祭空間への独創的接近。
Aspects of the Novel	E. M. Forster		Penguin Classic	2005	○	F040-f8		小説論の古典
誘惑する他者:メルヴィル文学の倫理	古井義昭		法政大学出版局	2024	○	無		作家メルヴィルの主要作品群を精読し、書くこと／読むことの根源に関わるテーマを掘り下げる。読解への手引き書
(見えない)欲望へ向けてークィア批評との対話	村山敏勝	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2022	○	無		英文学の古典からジジェク、バトラー、コブチェク、ベルサーニらを読み、クィアな読解を論じる名著

## ドイツ語圏文学・文化コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
-----	--------	----------	-----	-------	--------------------	--------------------------	---------	---------------

変身	カフカ	岩波文庫ほか	岩波書店ほか	2004	○	081-195-R438-1		他者との関係の只中にいながら単独者でしかあり得ない人間の実相をえぐり出す小説。
水晶	シュティフター	岩波文庫ほか	岩波書店ほか	1952	○	081-195-R422-1		他者との共生のための条件として穏やかな法則が存在することを、美しい自然描写の中に描き出した作品。

フランス語圏文学・文化コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
十九世紀フランス文学を学ぶ人のために	小倉孝誠(編)		世界思想社	2014	○	950.29-O26		激動のフランス19世紀の社会情勢を踏まえ、新しい知見を加えた力作。現代フランス文学を研究するのであれば、源流を知るべく読んでいただきたい。
方法序説	ルネ・デカルト	1)岩波文庫 2)ちくま学芸文庫・テ6-3	1)岩波書店 2)筑摩書房	1)1997 2)2010	1)○ 2)○	1)081-195-B613-1 2)135.23-D64		考えるとどういふことが、どう考えを進めていくべきか、フランス合理主義の真髄を示した古典的名著。

欧米研究コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
収奪された大地:ラテンアメリカ500年(新装版)	エドゥアルド・ガレアーノ(大久保光夫訳)		藤原書店	1997	○	放送大学東京文教学習センター255-G17.	旧版(新評論、1986年)は中央図書館や体芸図書館にもあり(同配架番号)	入社面接や院試の前日の就寝前にふと気になって読み始めて読み耽ったりすると、(紹介者のように)落ちてしまうかもしれないので、そうなる前に読んでみることをお勧めします。

文化人類学コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
民俗のこころ	高取正男	高取正男著作集	法蔵館	1983	○	380.8-Ta55		民俗学におけるものの見方を、オオヤケとワタクシというふたつの言葉をキーワードとして読み解いています。特に日本人にとつての信仰・宗教を考えたい方にお勧めします。
遠野物語・山の人生	柳田國男	岩波文庫	岩波書店	1976	○	081-195-B138(体芸・医学)	青空文庫にも所収されています。	岩手県遠野市の伝承的世界に触れたい方にお勧めします。ここに描かれた伝承的世界は決して過去だけのものではありません。現代においても民俗的世界は息づいています。
鯨絵:民俗的想像力の世界	C・アウエハント	岩波文庫	岩波書店	2013	○	081-195-W227-1	せりか書房版 382.1-O92	大地震に揺れる江戸の民衆の間で評判となった現れた鯨男とは何者なのか。宗教現象や物語の構造論的分析を学びたい方へ。
〈中東〉の考え方	酒井啓子	講談社現代新書	講談社	2010	○	081-Ko19-2053		現代中東の主要な政治・社会問題(イランのイスラーム主義、パレスチナ問題など)について、分かりやすく書かれた概説書です。
トルキスタン文化史(1・2)	V. V. バルトリド	平凡社東洋文庫	平凡社	2011	○	080-To82-805 / 080-To82-806		20世紀初頭のロシアで活躍した東洋学者の手になる中央アジアの通史。多言語の史料を駆使し、1世紀近くを経た今でも示唆に富む内容です。

変化を生きぬくブッシュマン：開発政策と先住民運動のはざままで	丸山淳子		世界思想社	2010	○	382.484-Ma59		この、アフリカのブッシュマンを扱った丸山さん(比較文化学類の卒業生)の著作は、さいきん日本語で書かれたエスノグラフィのなかで、とりわけよいもののひとつです。
恋する文化人類学者：結婚を通して異文化を理解する	鈴木裕之		世界思想社	2015	○	382.443-Su96		アフリカの歌姫と結婚した筆者の実話をもとに、文化人類学の考え方や方法について説明した魅力的な本です。
贈与論	マルセル・モース	岩波文庫	岩波書店	2014	○	081-195-W228-1		社会における贈与や交換の役割とはどのようなものかという課題に取り組んだ1920年代の著作。人類学の理論や民族誌に多大な影響を与えてきた名著。
リターンズ—二十一世紀に先住民になること	ジェイムズ・クリフォード		みすず書房	2020	○	389-C78		人類学史に関する批判的論評を重ねてきた著者による、「先住民」の現在と未来をめぐる重要な著作。

#### 文化地理学コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
アメリカ大都市の死と生	ジェイン・ジェイコブス著 山形浩生訳		鹿島出版社(新装版)	2010	○	518.8-J12		都市が発展するには多様性が必要だ。どのように多様性を作り出すのか、多様性の効果とは何かを検証した良書。
都市と社会的不平等	ダヴィド・ハーヴェイ著 竹内啓一・松本正美訳	ブリタニカ叢書	日本ブリタニカ	1980	×	361.78-H34		都市には不平等がつきものである。都市内部の不平等がどのように作られ、都市の構造をなしてきたのかを考察した書籍。
地理学の古典	手塚 章		古今書院	1991	○	290.12-Te95		地理学の本質や課題について書かれた古典的論考の中から計8編を収録。
続・地理学の古典	手塚 章		古今書院	1997	○	290.12-H98		フンボルトの「熱帯アメリカ旅行」を通し地理学の魅力を語る。
ルーラル：農村とは何か	ウッズ, M.著, 高柳長直・中川秀一監訳		農林統計出版	2018	○	290.176-W86		経済社会のグローバル化、新自由主義化のもとで構造変容する「農村」をどう捉えるか、新しい地理学の視点から解説。
地理学講座(全6巻)	中村和郎ほか		古今書院	1987-1991	×	290.1-C47		地理学の基礎的範囲と概念を広く知るために
シリーズ人文地理学(全10巻)	村山祐司ほか		朝倉書店	2003-2011	○	448.9-Mu62		人文地理学の最近の変貌を踏まえた講座本
ジオ・パルNEO：地理学・地域調査便利帖—	野間晴雄ほか		海青社	2014	○	290.1-N94		地理学の基本から地域調査方法に至るまでを親切に解説

#### テキスト文化学コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
男たちの絆、アジア映画：ホモソーシャルな欲望	四方田犬彦、斉藤綾子編		平凡社	2004	×	778.22-Y81		セジウィックの「ホモソーシャル・ボンド」理論で、アジア映画を読解する。
男の絆	前川直哉	双書Zero	筑摩書房	2011	○	367.97-Ma27		セジウィックの「ホモソーシャル・ボンド」理論で、明治文学からBLまで。
オリエンタリズム(上・下)	エドワード・W・サイード	平凡社ライブラリー	平凡社	1993	○	220-Sa17、他		ポストコロニアル批評を学ぶ者は、やはりこの本を熟読玩味しなければなりません。難解な本ですが、事前にミシェル・フーコーの議論を学んでおくとよいでしょう。



ハンガー・ゲーム	スーザン・コリンズ	文庫ダ・ヴィンチ	KADOKAWA	2012	○	933.9-C84-1		最終章の映画版公開が2015年。戦う女子モノの最高峰のひとつでしょう。八木教広の漫画『CLAYMORE』もどうぞ。
世界文学とは何か？	デイヴィッド・ダム ロッシュ		国書刊行会	2011	○	902-D34		「世界文学」とは何だろう？翻訳や翻案がテキストにもたらずものは？世界の中の日本文学(文化)に興味がある人にもおすすめ。
ドストエフスキーと父親殺し /不気味なもの	ジークムント・フロイト	光文社古典新訳文庫	光文社	2011	○	無		フロイトによる文学・芸術論の精髓が集められている。人間の不思議を改めて問い直す機会にもなる。訳もよい。
エクソフォニー：母語の外へ 出る旅	多和田 葉子	岩波現代文庫	岩波書店	2012	○	914.6-Ta97 (親本)	親本2003年	日本語・ドイツ語の両言語で創作活動を展開する著者の越境文学論。ほかの著作や、とりわけ、奇妙で深い、多和田の小説群も読んでほしい。
小説は、わかってくればおもしろい――文学研究の基本 15講	小平麻衣子		慶応義塾大学出版会	2019	○	910.26-O17		文学研究って、どうやったらよいの？ こういう迷いを感じている人にお薦めの一冊。
戦う姫、働く少女	河野 真太郎	POSSE叢書 Vol.3	堀之内出版	2017	○	無し 発注済み		ジブリの少女やディズニープリンセスは何と戦い、どう働いたのか？

#### 文化創造論コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能なか(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
狂気の歴史	ミシェル・フーコー		新潮社	1975	○	145.8-F42		フーコー初期の代表作。ルネサンス時代から近代までのヨーロッパ社会における、社会、医学、芸術における狂気の捉え方とその変化について論じる。
明るい部屋の謎	セルジュ・ティスロン		人文書院	2001	○	無		バルトの『明るい部屋』を批判的に継承し、写真論・表現論を実践的な位相で問い直す。説明が具体的に理解しやすい。
音楽のエラボレーション	エドワード・サイード		みすず書房	1995	○	無		音楽・文学・文化・思想、そして個人的な体験を滑らかに横断しながら書かれている。英語の原書も読みやすいのでおすすめ。
ジョン・ケージ著作選	ジョン・ケージ	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2009	○	無		音の本質へと立ち返る現代音楽における知的冒険と創造行為のあり方を理解する上で最良の書物。
ブルトニウムの恐怖	高木仁三郎	岩波新書	岩波書店	1981	○	081-I95		原子力と人間の関係について、近代技術の本質について考えたい人へ。環境、原発問題の古典。
『紀元二千六百年―消費と観光のナショナリズム』	ケネス・ルオフ		朝日新聞出版	2010	○	210.7-R86		ナショナリズムをツーリズムや大衆消費という観点から問い直すことで、戦前は暗い時代という画一的なイメージに挑戦、私たちのアイデンティティの盲点を突く。

#### 先端文化学コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能なか(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
ベケットを見る八つの方法： 批評のボーダレス	岡室美奈子，川島健(編)		水声社	2013	○	950.29-B31		2006年に東京で行われた国際シンポジウムの論集。J. M. クッツェー、スティーヴン・コナー等、世界有数のサミュエル・ベケット研究者が執筆している。先端文化学コースの対馬美千子先生もその執筆陣の一人。多角的な視点からベケットその人と作品を立体的に立ち上げている。
後期フーコー	廣瀬浩司		青土社	2011	○	135.57-H72		パノプティコンの分析によって監視社会を批判したとされるフーコーの、より積極的に生産的な側面を紹介。「自己を正しくケアする」ことを考えるために。

ヘルダーのビルドゥング思想	濱田真		鳥影社	2014	○	134.1-H53		ドイツ18世紀の哲学者・文学者ヨハン・ゴットフリート・ヘルダーの思想を、「ビルドゥング思想」から解き明かした書である。ドイツ語の「ビルドゥング」は「教養」「教育」という訳語が与えられるが、本書はヘルダーの思想のなかにその語がもつ深く広い意味の世界を広げてくれる。
ノイズとダイアローグの共同体: 市民社会の現場から	川那部保明(編)		筑波大学出版会	2008	○	040-Ka96		市民社会の多様なあり方、多様な生成の仕方に寄り添い、社会の根底でささやかれるノイズと、社会の内部をゆり動かすダイアローグに耳を傾けた書。
椅子と身体: ヨーロッパにおける坐の様式	山口恵里子		ミネルヴァ書房	2004	○	383.9-Y24		身体と社会(世界)を媒体する道具である椅子に着目し、道具と身体が創出する身体的場を追跡する。芸術と人類学の接点に、イメージを生むメディアとして身体を論じている。
眼と精神	メルロ＝ポンティ		みすず書房	1966	○	135.5-Me66		現代美術のみならず、現代のアートのありかたを考えるうえでもインスピレーションにみちた必読の一冊。身体論、感覚論に興味がある人にも。

#### 情報文化学コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
春の祭典	モードリス・エクスタインズ		みすず書房	2009(新版)	○	230.7-E44(旧版1991)		現代社会の原型を作った第一次世界大戦の精神史、文化史。メディア研究もその影響を色濃く受けて確立された。
声の文化と文字の文化	ウォルター・オング		藤原書店	1991	△(アマゾンで入手可)	804-O65		声の文化と文字の文化の相違を文明的パースペクティブから論じ、文字文化、さらに電氣的声の文化が人間の感性に与えた影響を論じる。
大衆の国民化	ジョージ・モッセ		柏書房	1994	○	234.05-Mo81		メディア、記念碑、大衆集会などのシンボル政治が、人民主権を成し遂げしつ、いかファシズムを形成したかを解明した研究。
メディアの議題設定機能	竹下俊郎		学文社	2008	○	361.45-Ta65		メディアの効果研究として重要な議題設定機能をいち早く紹介した著者による書籍。議題設定機能を成立させている考え方や概念について解説したものの。
政治報道とシニシズム	J.N.カベラ, K.H.ジェイミソン		ミネルヴァ書房	2005	○	なし		公衆に広がるシニシズムについて、メディアによる報道のニュースフレームから実証的に分析した良書。
総力戦体制	山之内靖	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2022	○	393.6-Y39		歴史研究に大きな波紋を投げかけた論文を含む。思想史、経済史、政治史を横断するスケールの大きな書籍。

#### 現代思想コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
古代中国天命思想の展開: 先秦儒家思想と易的論理	佐藤貢悦		学文社	1996	○	124.1-Sa85		天命思想に焦点をあてながら、孔子、孟子、荀子、「易伝」の倫理思想を検討することによって、東アジアの地域、歴史のなかで絶大な影響力を発揮してきた儒家思想の歴史的意義を明らかにする。
ワイトゲンシュタインはこう考えた-哲学的思考の全軌跡	鬼界彰夫	講談社現代新書	講談社	2003	○	081-Ko19-1675		遠大な思考の果てに浮かびあがる「哲学」の姿!ワイトゲンシュタイン哲学のすべてがわかる。
東アジアにおける日本朱子学の位相	嚴錫仁		勉誠出版	2015	○	121.54-O64		東アジアの朱子後継者のなかで日本的な朱子学、あるいは朱子学の日本化を成し遂げたという山崎岡斎。彼を筆頭にする崎門学派の理気心性論の言説をとくに朝鮮の李退溪との比較において東アジアの近世思想史のなかに再定位する。

宋学の西遷：近代啓蒙への道	井川義次		人文書院	2009	○	133-I23		16世紀から18世紀にかけてのイエズス会士による中国思想情報は、近代ヨーロッパ理性の形成に大きな役割をはたしていた。本書は儒教思想のヨーロッパ受容をテキストクリティークによって検証する。
存在と時間	ハイデガー著、熊野純彦訳	岩波文庫	岩波書店	2013	○	081-I95-B651-1~4		読みやすい新訳。4冊あることにひるまず、まず第2巻117頁から読んでほしい。「あるある」で、誰でも身に沁みてわかるはず。『存在と時間』ってそういう本です。
想像の共同体	ベネディクト・アンダーソン	ネットワークの社会学シリーズ	NTT出版	1997	○	311.3-A46		(本当は)思想を学びたい人だけでなく、文学や地域について学びたい人にこそ読んでほしい。でも、思想を学ぶ人には(本当に)必読。
あいだ	木村敏	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2005	○	493.71-Ki39		精神分析から見た人間の深いかたち。
夜と霧	フランクル		みすず書房	1985	○	946-F44		「アウシュビッツ以降をどう生きるか」が、現代思想の(それから現代という時代に存在するあなたの)責任なのではないでしょうか。
善悪の彼岸	ニーチェ	岩波文庫	岩波書店	1970	○	081-I95-B639-5		普通におもしろい。しかも美しい。で、めっちゃくちゃ深い。(当然です。。。)

#### 比較宗教コース

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
宗教とは何か	西谷啓治		創文社	1961	×	160.4-N86		宗教を哲学的に考えるための古典的著作
宗教論	ジークムント・フロイト		日本教文社	1970	○	145.9-F46		深層心理学から宗教を考えるための古典的著作
宗教社会学	メレディス・マクガイア		明石書店	2015	○	161.3-Ma15		宗教社会学の全体像を知るための必読書
プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神	マックス・ウェーバー			1985	○	331.5-W51		資本主義の成立と宗教との関わりを考えるための衝撃的な一冊
宗教生活の原初形態	エミール・デュルケム			1977	○	161.3-D98		社会における宗教の機能を解き明かした古典
宗教的経験の諸相	ウィリアム・ジェイムズ			1970	○	081-I95-B640-2		宗教体験の多様性を考える必読の書
宗教とツーリズムー聖なるものの変容と持続	山中弘		世界思想社	2012	○	161.3-Y34		宗教とツーリズムについての研究書
社会的宗教と他界的宗教のあいだ 見え隠れする死者	津村寛文		世界思想社(ネクパブ・オーサースプレス版)	2011	○	161-Ts91		宗教現象を他界的宗教(垂直軸)と社会的宗教(水平軸)の交わる点として見る考察
北米先住民族の宗教と神話の世界	木村武史		筑波大学出版会	2022	○	164.5-Ki39		北米先住民の宗教と神話についての研究書